



木曽林務課だより

5月

南木曽町中学校で「南木曽町林業研究クラブ」が指導して30年間続いているしいたけの植菌作業を紹介します。

30年間続く、南木曽中学校のしいたけ植菌！！

南木曽中学校では、先輩たちが育てたものを後輩がいただけるように、毎年100本程度のほだ木を作って、「しいたけ」を栽培しています。

その始まりは平成2年度から「南木曽町林業研究クラブ」が地元中学生に木を活かした活動を通じて、森林、林業、木材利用のことなどを少しでも理解してもらおう機会として、町や森林組合の協力を得ながら中学校に働きかけて実現したものです。

同クラブが負担して準備した原木や種駒を使って、クラブ会員をはじめ森林組合、町等の職員が協力して指導しながら作業を行っており、実にこの活動が30年間続いています。

まず、しいたけ植菌作業に先立ち、1週間ほど前に木曽地域振興局林務課の林業普及指導職員が講師として、事前学習で森林の働きや恩恵などについて理解を深めます。

そして、本番のしいたけの植菌作業を迎えます。指導者の皆さんの中には、中学生の時にこの作業体験を行った卒業生の方もおり、実に感慨深い活動です。

これからもこの活動が継続してくれると嬉しいですね。そしてこの中から、しいたけの生産者や林業の担い手になってくれる方が増えることを期待しています。



先輩のほだ木から立派なしいたけ



事前学習 森林の恵みとは！？



指導者の皆さんからの作業の説明

ドリルで穴開け作業



種駒打ち込み作業



できたほだ木を伏せてしっかり管理



作業日 令和3年4月16日(水)
場所 南木曽中学校駐車場